

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和4年 2月 1日

事業所名:るあな

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制設備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	●		アコーディオンカーテンやパーテーションを用い、適切な人数のスペースを作っています。
	2 職員の配置数は適切である	●		基準に適した人数を配置しています。
	3 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされている	●		視覚補助の教材を作成し、情報伝達を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画している	●		毎日の朝礼・終礼で、振り返り、評価を行っています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	●		アンケートを実施し、業務の振り返りをして行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	●		ホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		●	第三者による評価は行えていませんが、他事業所からのアドバイス等を取り入れ、業務改善につなげています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	●		外部研修に参加し、職員の質の向上に努めています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	●		6ヶ月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画を更新しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	●		アセスメントシートを使用し、情報収集を行っています。また、必要に応じてS-M社会生活能力検査を使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	●		毎月の活動プログラムを職員間で話し合い、決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	●		様々なプログラムを組み合わせで行っています。季節に合わせたイベントも実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	●		平日と休日、長期休暇で異なる活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	●		個別活動と集団活動を組み合わせプログラムを行っています。個別支援計画に両方の目標を立てています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	●		朝礼時に業務や支援内容の共有を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	●		終礼時に、振り返り、情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	●		来所ごとに、個別支援計画に対する評価を記載しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	●		6ヶ月に1回、保護者とモニタリングを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	●		様々なプログラムを組み合わせ活動を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画している	●		児童発達管理責任者が会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	●		学校行事の確認や送迎時間の変更等、情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		●	必要に応じて、情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		●	対象の児童が在籍していない為、実施していません。必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	●		ケース会議に参加したり、相談支援員と連携を取ったりしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		●	地域と連携を図り、実施できるように努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		●	今後参加する予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	●		日々様子を個別に保護者専用WEBページに掲載しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		●	現在実施できていませんが、職員がペアレントトレーニングの研修に参加しています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	●		見学、契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	●		定期的に面談を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		●	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できていませんが、今後実施する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	●		苦情対応マニュアルを作成し、迅速に対応できるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	●		毎月、行事予定表を配布しています。保護者専用のWEBサイトやSNS等で情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	●		個人情報は鍵付きのキャビネットに保管しています。SNS等への掲載は事前に同意を得ています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	●		絵カード等をしようし、一人ひとりに合わせたコミュニケーションを行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		●	地域住民の招待は行っていません。必要に応じて、実施を検討します。	

非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	●		各マニュアルを作成しています。今後、保護者への周知を行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	●		職員間で定期的に訓練を行っています。プログラム内で訓練を取り入れる等、児童も含めた訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	●		虐待に関する研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	●		現在対象児童は在籍していません。身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	●		契約時に保護者に聞き取りを行い、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	●		ヒヤリハット事例集を作成し、防止策の検討を行っています。